

# 中井だよい

中井やまゆり園

## 今年流行りの感染症！

看護係長 川口 佳穂里

今年の夏は例年にない暑さが続き、10月に入っても半袖で過ごす日がありました。秋になるのが待ち遠しく思っていたのですが、11月に入り木々の色づきが変わり始めたかと思いきや、急に朝晩の冷え込みが厳しくなり、突然の冬の到来を感じています。暑い時は、脱水症状・体力の低下に注意が必要になりますが、寒くなると空気の乾燥から感染症のリスクが高くなります。11月の現時点では、まだインフルエンザの流行はきかれていませんが、今年はマイコプラズマ肺炎・手足口病の流行がきかれています。マイコプラズマ肺炎は冬に感染者がやや増えるものの1年を通して発症する可能性があります。2～3週間の潜伏期間を経た後に発熱・倦怠感・頭痛など一般的なかぜ症状が現れるのが特徴です。咳などの呼吸器症状は発症後3～5日ほど経ってから現れるのが多く、発熱などの全身症状は通常数日で改善しますが、咳のみが1ヶ月ほど続くのも特徴です。重症化した場合は細気管支炎を併発しゼイゼイとした苦しそうな呼吸が見られます。特に大人が発症すると小児よりも重症化しやすいとされています。手足口病は手・足・口等に水疱性発疹、発熱が特徴です。発症者の9割が5歳以下の小児とされていますが、近年では成人が発症するケースも増えています。どちらの疾患もワクチンはありません。

今年度、利用者様は園外での活動に積極的に取り組んでいます。園外の人との関わりもより一層増え、感染リスクとしては増えた状態ではありますが、マスクの着用・手洗いや消毒の実施が少しずつですが定着し、感染予防に努めています。

11月29日には、インフルエンザ予防注射を実施予定しています。また、12月5日には2回目の健康診断を予定しています。今年度から、外部の委託業者による健康診断となりました。検査結果等、よりわかりやすい内容での報告ができればと思います。

